

地元の味 おすすめマップ ～くりらぼカフェ コラボ編～

東急多摩川線沿線、武蔵新田・鵜の木エリアには活気あふれる商店街があります。新旧問わず地元の方に愛されてやまないお店たちばかりです。今回は、おたオープンファクトリーのイベントで、11月25日の10時～16時にOPENする「くりらぼカフェ」とコラボしてくださったお店を紹介します。すぐ近くのお店ばかりなので、ぜひお店へ足を運んでみてください。



01 BONBIEN

大田区矢口1丁目15-13
TEL:03-3757-1890



「BONBIEN」は、創業者であるご主人が、フランスで修行していたお店にあったケーキの名前。自慢の焼き菓子は、工場まのちの定番の「お持たせ」として、武蔵新田の顔を長年務めています。

02 森の園茶舗

大田区矢口1丁目13-8
TEL:03-3759-0717



明るい奥さんが温かく迎えてくれるお茶屋さん。看板商品であるお茶はもちろん、乾物やのりも地元の方に長く愛される味です。地元に住む女子大生によると、「このお店の飴は絶品!」とのこと。

03 ビストロ武蔵新田

大田区矢口1丁目21-17
TEL:03-6459-8447



優しいお父さんが出迎えてくれる本格派ビストロ。店名には地域の人に親しんでほしいという思いが込められています。毎週日曜日にはマルシェを開催。美味しいフランス料理が手ごろなお値段で楽しめます。

04 豆富司みしまや

大田区矢口2丁目5-14
TEL:03-3759-7750



常連客が後を絶たない人気店。定番は出来たてのおぼろ豆腐で、一度食べたら忘れられない逸品。豆腐のほかに、大豆を使ったスイーツも取り扱っており、大豆の美味しさを存分に知ることができます。

05 WORLD BEANS

大田区矢口2丁目11-28
TEL:03-3758-2039



世界中から集めたコーヒー豆を、その場で焙煎してくれます。迷った場合は、店員さんが好みに合ったコーヒーを選んでくれます。それぞれの豆の物語を聞きながら焙煎を待つ時間は、至福のひとつです。

06 東京あげパン

大田区鵜の木2丁目4-1
TEL:03-5732-3568



鵜の木駅前にあるあげパン専門店。あげパンが大田区発祥であることのPRを目標としたこのお店は、他店では見たことのないほど豊富な種類のあげパンが並んでいます。姉妹店ラ・ヴェールには、パンを豊富に取り揃えています。



くりらぼ多摩川

〒146-0093 東京都大田区矢口 1-21-6
東急多摩川線武蔵新田駅より徒歩5分（丸子幼稚園うら）
※お越しの際は公共交通機関をご利用ください。
※駐車場はございません。 ※赤い屋根が目印です！



オープン DAY

毎週火曜・木曜日 11:00～16:00
おたの町工場やモノづくりに興味のある方お待ちします！
※急なお休みなどは、ホームページやFacebookでお知らせしていますのでチェックの上、ご来館ください。

【くりらぼ通信】vol.03 くりらぼ通信は、創造製作所「くりらぼ多摩川」が不定期に発行する活動報告紙です。

発行日：2017年11月25日 発行元：くりらぼ多摩川 編集：横浜国立大学「おたクリエイティブタウン研究プロジェクト」チーム

編集協力：一般社団法人おたクリエイティブタウンセンター・一般社団法人大田観光協会 公式HP：http://www.o-2.jp/lab/index.html Facebook：https://www.facebook.com/kurirabo

事務局：一般社団法人 大田観光協会 〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20 大田区産業プラザ2階 TEL 03-3734-0202 FAX 03-3734-0203 MAIL info@o-2.jp

vol.03

2017年11月発行

くりらぼ通信

p1-2. everydayくりらぼ | p3. くりらVOICE | p4. 地元の味 おすすめマップ

everyday

くりらぼ

2017.04～2017.09

くりらぼ多摩川では、下記ふりかえり Listにあるように、日々いろいろな活動を行っています。今号では、4月から9月の中から5つの活動をご紹介します。

ふりかえり List

- 5/7 日曜くりらぼ倶楽部
- 5/18 くりらぼ茶論
- 5/21 日曜くりらぼ倶楽部
- 6/4 日曜くりらぼ倶楽部
- 6/18 日曜くりらぼ倶楽部
- 6/20 くりらぼ茶論
- 6/23-25 劇団*treasurebox*「hometown」
- 6/24 町工BAR vol.18 [流行は蒲田から。松竹キネマの時代とトイフィルム]
- 7/2 日曜くりらぼ倶楽部
- 7/18 くりらぼ茶論
- 7/23 日曜くりらぼ倶楽部
- 7/29 矢口西小学校 サマーチャレンジ・くりらぼワークショップ [不思議な打楽器「スプリングドラム」を作ろう!]
- 8/6 日曜くりらぼ倶楽部
ねじまき隊オリエンテーション
多摩川七福神縁日・宵の縁日・
- 8/19 くりらぼ多摩川出張ワークショップ
@ 大田区観光情報センター
- 8/20 日曜くりらぼ倶楽部
- 8/26 くりらぼ多摩川 夏まつり
[クリエイティブタウン大交流会]
- 9/3 日曜くりらぼ倶楽部 ワークショップ
[2枚の鏡で万華鏡を作ろう]
- 9/16-18 工場男子写真展示 @ 蒲田図書館
[16人の若手町工場職人 夢を語る]
- 9/17 工場男子写真展示 トークショー
- 9/24 日曜くりらぼ倶楽部



7月
29

矢口西小学校 サマーチャレンジ・くりらぼワークショップ
不思議な打楽器「スプリングドラム」を作ろう！

ばねが奏でる不思議な世界を体験！

ワークショップは矢口西小学校「サマーチャレンジ」の一つとして開催し、小学1、2年生、計10人が参加しました。スプリングドラムは筒の底にバネをつけた打楽器で、雷や嵐のような音特徴的です。ばね工場の（有）信成発條製作所の鷹尾さんと、くりらぼの裏にある工場ホワイト・テクニカの白石さんにご協力頂きました。異なる7種類のばねを用意して頂き、楽器の音の変化を楽しみました。筒のまわりはデコレーションをして、「きょうりゅうドラム」や「くまドラム」など、自分だけのスプリングドラムが完成。「すごい音が聞けてよかった!」と、大満足のワークショップになりました。



▲ みなさんが持ってきた筒に、ばねを取り付けます。密着したばねは想像以上に硬く、伸ばすのに一苦労。音を鳴らしてみると、不思議な音にびっくりしていました。



▲ みなさんが自分たちで持ち寄ったシールやマスキングテープなどを使って、スプリングドラムをデコレーションしていきます。それぞれの個性が光ってます！

6 月
23.4.5

劇団＊treasurebox＊ 公演
hometown



くりらぼ多摩川 初の演劇企画

昨年10月に演劇ワークショップの講師をしてくださった、水上祐佳さん脚本・演出の「hometown」の公演が行われました。生まれも育ちも異なる4人の男女が暮らす、シェアハウス「くりらぼ」での物語で、各々故郷へ思いを馳せる様子が描かれていました。会場には地図が用意されていて、観客どうしの故郷が共有できるように工夫されていました。少しノスタルジックでアットホームな雰囲気の漂うくりらぼ多摩川に合う、心地の良い公演となりました。

8 月
19

くりらぼ多摩川 出張ワークショップ
廃材を使ったサンキャッチャーづくり



お気に入りのパーツで作るオリジナルチャーム！

京急蒲田駅の大田区観光情報センターにて、出張くりらぼワークショップを行いました。アクセサリー作家の泉昭子さんのご指導のもと、元気な小学生たちが集まり、みなさんそれぞれ個性の光るサンキャッチャーを作っていました。サンキャッチャーは、金属を削るときにできる廃材「切子」を、ビーズやホログラムと一緒にUVレジンで固めたもので、光を反射してキラキラ光ります。製作中は言葉も出ないほど作品作りに真剣で、完成した作品はどれも素敵な宝物になったと思います。

6 月
24

町工BAR vol.18
松竹キネマの時代とトイフィルム



蒲田が映画のまちって、知っていました？

蒲田図書館館長の三橋 昭さんをお招きして、「松竹キネマの時代とトイフィルム」の講演が行われました。映画の歴史に始まり、当時の蒲田のまちや松竹映画、家庭用映写機トイフィルムのお話をいただき、最後に昭和初期の35mmフィルムをみんなで鑑賞しました。無声映画とくりらぼのコラボによって、昔にタイムスリップしたかのようなノスタルジックな雰囲気の中、時折映画に対して笑いやツッコミが入る楽しいひと時となりました。

8 月
26

くりらぼ多摩川 夏まつり
クリエイティブタウン大交流会



暑い夏を吹きとばせ！

町工BARの特別版として開催された、くりらぼ多摩川 夏まつり。普段からくりらぼの活動でお世話になっているみなさまの交流会として、お酒を片手にたくさんの方々のお話を伺うことができました。当日は金魚すくい大会も行われ、子どもたちの楽しい笑い声が夏の夕暮れに響いていました。さらに、大田区ゆかりのシンガーソングライター、amilrie（アミアイリ）さんの生ライブも開催！みんなで歌ったり、手を叩いたり… とても楽しく、元気になれる素敵なライブとなりました。

第2回

くりらVOICE

くりら VOICE（ヴォイス）では、くりらぼ多摩川に所縁のある方にクローズアップ！ご本人のこと、くりらぼとの関わりなど、ここでしか聞けない声をお届けします。



泉 昭子 さん

くりらぼ多摩川 技術部長

くりらぼ多摩川の運営を影で支える「技術部長」泉 昭子さんに、くりらぼに関わるようになったきっかけから、これからの展望までをインタビューしました！

くりらぼとの出会い

ー 大田区に来たきっかけを教えてください。
泉：北海道出身ですが、新卒で蒲田に職場があったため大田区に引っ越してきました。その後、地域の活動と関わりを持つようになりました。
ー くりらぼの運営に関わるようになったきっかけは何ですか。

泉：ものづくりが趣味で、仕事の傍らアクセサリーを作っていました。ある日、新田神社の縁日に参加して、アクセサリーの販売をしていたら、山本さん（※1）にくりらぼでワークショップをやらなかと声をかけていただきました。その後オープンファクトリー（※2）のねじまき隊に参加し、くりらぼでの活動を知るようになりました。運営に携わるようになったのは、山本さんが産休となり、紹介をさせていただいてからです。1年前には、休暇を多く取れる職場に転職したため、くりらぼの運営との両立ができています。

くりらぼでの活動

ー なぜくりらぼ「技術部長」なのでしょう。

泉：はじめは次期工場長と言われていましたが、山本さんが産休から復帰後に工場長が2人になってしまうのは何か引かかるし、人をまとめることより物を作るの方が得意なので、技術部長ということになりました（笑）

ー 技術部長の仕事には、どのようなものがありますか。

泉：ワークショップを考えたり、オープンファクトリーの準備を行ったりしています。オープンファクトリーが近づいてくるとワークショップを考える余裕がなくなってきてしまいます。
ー 技術部長として一番楽しいことは何ですか。
泉：ワークショップを行って、みんながアクセサリーを作っているときに楽しんでいる笑顔を見ることがです。また、町工場の技術など、自分の知らない世界を知ることが楽しいです。職人さんが長年培ったものを教えてくれるので、聞き応えがあります。

これからのくりらぼ

ー これからのくりらぼについての思いを教えてください。

泉：オープンファクトリーには多くの人が関わっていますが、くりらぼを知っている人は少ないので、もっと知ってもらえるように盛り上げていきたいです。また、職人さんと地域の人が交流できる場として、発展していけばいいなと思っています。

（※1）
山本 章子さん：
くりらぼ多摩川 工場長。詳しくは、くりらぼ通信第1号 くりらVOICEを参照。

（※2）
おおたオープンファクトリー：
下丸子・武蔵新田エリア、臨海部エリアなどを中心に年に1度開催される、町工場を一堂にオープンするイベントのこと。
2017年は、11月25日～12月2日（下丸子・武蔵新田エリアでは11月25日）に開催。

ー Profile
泉 昭子 Akiko Izumi
北海道出身、大田区在住。
おおたオープンファクトリーに参加したことをきっかけに、現在は「くりらぼ多摩川 技術部長」に就任。くりらぼの管理やワークショップ、オープンファクトリーの企画運営を行う。